

医療と介護の連携に向けた主なご意見

(専門部会でのご意見を含む。)

1 多職種の連携について

- 医療と介護で顔のみえる関係づくりを進めることが重要である。
- 資源の状況によっては、単独の市町村ではなく、広域連携のような取組も必要である。
- 職能団体から市町村に手を差し伸べることも、必要である。

2 情報共有について

- 地域の医療・介護関係者がともに情報を共有することが重要であり、それらの取組に対する支援や情報共有のための共通様式が必要である。ただし、情報量は、最低限とすることに留意することが必要である。
- 情報の共有には、ICTの活用が有効である。
- ICTを活用した情報共有を促進するためには、補助対象者、補助率の拡大の検討も必要である。

3 在宅医療の実施について

- 道内では、在宅医療を実施することが難しい地域もあることから、都市部と地方とでは状況が違ふということを前提に進めることが重要である。

4 研修の充実について

- 医療・介護双方が相手方の知識や技術を習得する研修は増えているが、さらに充実することが必要である。